

Fly High, Together!



『人間国宝の特別授業』がありました



17日(火)の3・4校時に重要無形文化財保持者(人間国宝)である山本晃さんをお迎えして、特別授業が行われました。人間国宝は、日本の伝統的な芸能や工芸技術のうち、芸術上または歴史上価値の高いものを文化財として指定し、その技を高度に身に付けている方を保持者として認定している制度です。全国に115名の保持者がいらっしゃいますが、山口県では山本先生お一人であるそうです。昨年、旭日章受章を受賞されました。

山本先生は、金工家になられるまでのご自身のご経験と、作品ができるまでの過程などをお話してくださいました。山本先生の作品を間近で見られることもでき、作品の特徴について子どもたちに丁寧に説明してくださいました。山本先生は、53歳のときに金工家として生きていく決心をされ、勤めていらした大学をやめられました。そのとき、保健師として働いていらっしゃった奥様にも仕事をやめてもらったそうで、その意志の強さを感じました。山本先生は、「好きなことをしたい、というわがままから今日に至っています。好きなことを見つけるのは大変かもしれません。だから、いろいろな経験をしてほしい。その中で、いろいろなことを思ったり、考えたりするはず。そうして見つかったものには、本気になって取り組むことができるし、一生懸命になれるのです」とお話してくださいました。また、日本伝統工芸展で入賞されたときに、ある先生から言われた棚からぼたもちのお話をしてくださいました。「棚からぼたもちをとるには、ずっと手をかかっているなければならない。一瞬でも手を下ろしてしまえば、その瞬間ぼたもちをとることはできない。だからそれは、大変な努力を重ねてきたという証拠なのですよ。」山本先生が金工家として重ねてこられた努力が並大抵のものではないことが伝わってきました。

講演の終盤の質疑応答では、6人が質問するなど活発に行われ、山本先生が丁寧に答えてくださいました。活発な質疑応答になったのは、子どもたちがこれからの生き方について考えることができるきっかけを与えてくださったからだと思います。会の最後に、2年生を代表して2組の福原くんがお礼の言葉を述べました。山本先生が、私たちが学ぶこの光市で今もなお精力的に制作活動に取り組んでいらっしゃることを私たちの誇りに思い、これからの生き方について真剣に考え、学校生活を充実させていきたいと思っています。



1組が附属特別支援学校を訪問しました



19日(木)に1組が附属特別支援学校を訪問しました。中学部16名の皆さんと先生方が温かく迎えてくださいました。風船バレー、卓球バレー、ポッチャという競技を通して交流しました。初めての競技でしたが、支援学校の皆さんが分かりやすくルールを説明して下さったおかげで、どの競技も白熱した交流になりました。今週は2組、来週は3組が訪問します。附属特別支援学校の皆さん、よろしくお祈りします。